



令和5年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和4年10月31日

上場会社名 モリ工業株式会社
 コード番号 5464 URL <https://www.mory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 河野 博光
 四半期報告書提出予定日 令和4年11月8日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06(6635)0201
 令和4年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第2四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第2四半期	24,011	19.6	3,389	21.7	3,746	26.3	2,614	18.3
4年3月期第2四半期	20,080	24.8	2,785	185.8	2,967	147.6	2,209	141.6

(注) 包括利益 5年3月期第2四半期 2,700百万円(23.8%) 4年3月期第2四半期 2,181百万円(125.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第2四半期	336 59	—
4年3月期第2四半期	281 61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年3月期第2四半期	64,763	48,235	74.4	6,205 50
4年3月期	62,527	46,311	74.0	5,958 67

(参考) 自己資本 5年3月期第2四半期 48,189百万円 4年3月期 46,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期	—	30 00	—	100 00	130 00
5年3月期	—	40 00	—	—	—
5年3月期(予想)	—	—	—	90 00	130 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,400	12.4	5,600	△1.5	6,000	△2.4	4,200	△2.8	540 84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年3月期2Q	7,766,380株	4年3月期	7,766,380株
② 期末自己株式数	5年3月期2Q	764株	4年3月期	230株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年3月期2Q	7,765,914株	4年3月期2Q	7,846,217株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
<参考資料>	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、7月に新型コロナウイルスの感染第7波が発生し、感染者数が急増しましたが、ワクチン接種等の効果により、感染者の回復も早まり、経済活動は徐々に回復してきております。

しかしながら、ウクライナ情勢は長期化の様相を呈しており、エネルギーや資源価格の高騰を起因とするインフレが進み、世界各国では金利の引き上げによる金融引き締めが行われており、次第に世界景気が減速する懸念が生じております。

また日本におきましても、日米金利差による円安が急速に進み、物価やエネルギー価格などが上昇しており、個人消費の冷え込みや企業業績の悪化などが懸念されております。

当社グループが属しておりますステンレス業界では、材料価格の上昇に伴う製品価格への転嫁が段階的に行われましたが、製品価格にはすでに天井感も出てきております。ニッケル市況は依然高値圏にありますが、今後は景気減速による反落も懸念され、製品在庫の荷動きが鈍くなってきております。

このような状況下におきまして、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は240億11百万円（前年同四半期比19.6%増）となりました。前年同四半期に比べ販売単価の上昇等により、売上高は増加しております。

また、収益面におきましては、生産高の増加と工場稼働率の上昇等により、営業利益は33億89百万円（前年同四半期比21.7%増）となりました。経常利益は為替差益の発生等により、37億46百万円（前年同四半期比26.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は26億14百万円（前年同四半期比18.3%増）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

(日 本)

日本事業の売上高は230億4百万円（前年同四半期比18.8%増）、セグメント営業利益は32億77百万円（前年同四半期比23.2%増）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、配管用は数量が増加し製品価格も上昇、また、自動車用も数量が回復したため、売上高は130億58百万円（前年同四半期比24.9%増）となりました。

ステンレス条鋼部門は、数量は減少しましたが、製品価格の上昇により、売上高は54億68百万円（前年同四半期比7.7%増）となりました。

ステンレス加工品部門は、家庭用金物製品については令和4年9月に販売がすべて終了し、売上は減少しましたが、給湯器用フレキ管が好調に売上を伸ばし、売上高は6億41百万円（前年同四半期比13.2%増）となりました。

鋼管部門は、建設仮設材用の需要が回復し、製品価格も上昇したため、売上高は35億42百万円（前年同四半期比20.3%増）となりました。

機械部門は、サプライチェーンの混乱により電装部品が入荷されず、製品出荷が遅れた影響もあり、売上高は2億91百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

(インドネシア)

インドネシア事業は、二輪車向けの数量が、現地のメーカー部品や世界的な半導体の不足の影響により減少しましたが、8月以降は回復してまいりました。四輪車メーカーの新車投入効果もあり、四輪車向けの数量は大幅に増加しました。製品価格の上昇と円安の効果もあり、売上高は10億6百万円（前年同四半期比62.0%増）、セグメント営業利益は1億10百万円（前年同四半期比86.4%増）となりました。

(セグメント・製品部門別売上高比較表)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)		前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日 本						
ステンレス管	10,455	52.1	13,058	54.4	22,457	52.1
ステンレス条鋼	5,075	25.3	5,468	22.8	10,464	24.3
ステンレス加工品	566	2.8	641	2.7	1,178	2.7
鋼 管	2,945	14.7	3,542	14.7	6,722	15.6
機 械	312	1.5	291	1.2	663	1.6
インドネシア	621	3.1	1,006	4.2	1,426	3.3
そ の 他	102	0.5	—	—	162	0.4
合 計	20,080	100.0	24,011	100.0	43,076	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は647億63百万円となり、前連結会計年度末に比べて22億36百万円増加いたしました。総資産の増減の主なものは、電子記録債権の増加7億88百万円、棚卸資産の増加18億27百万円などであり、負債の部は3億12百万円増加いたしました。負債の部の増減の主なものは、電子記録債務の増加4億25百万円などであり、

当第2四半期連結会計期間末の純資産は482億35百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億24百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が18億37百万円増加したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.4ポイント上昇し、74.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間は、販売単価が上昇したことや、材料価格の値上がりにより在庫の評価益が発生したこと等の増益要因が重なり、予想を上回る業績となりました。通期の業績予想につきましては、令和4年10月24日に第2四半期連結累計期間の業績予想の修正とあわせ「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示しておりますのでご参照ください。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,580	13,126
受取手形及び売掛金	9,154	9,330
電子記録債権	5,889	6,677
棚卸資産	11,327	13,154
その他	225	175
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	40,162	42,447
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,999	8,073
その他(純額)	7,967	7,982
有形固定資産合計	15,966	16,055
無形固定資産		
その他	75	75
無形固定資産合計	75	75
投資その他の資産		
その他	6,331	6,193
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6,322	6,184
固定資産合計	22,364	22,316
資産合計	62,527	64,763
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,453	3,651
電子記録債務	6,005	6,430
短期借入金	1,336	688
未払法人税等	1,382	1,204
賞与引当金	398	398
その他	1,587	1,483
流動負債合計	14,163	13,855
固定負債		
長期借入金	670	1,300
役員退職慰労引当金	158	164
執行役員退職慰労引当金	15	20
退職給付に係る負債	179	179
その他	1,029	1,008
固定負債合計	2,052	2,672
負債合計	16,216	16,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,149	7,149
利益剰余金	29,904	31,741
自己株式	△0	△0
株主資本合計	44,413	46,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,014	926
為替換算調整勘定	617	778
退職給付に係る調整累計額	229	233
その他の包括利益累計額合計	1,862	1,938
非支配株主持分	35	45
純資産合計	46,311	48,235
負債純資産合計	62,527	64,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
売上高	20,080	24,011
売上原価	14,660	18,039
売上総利益	5,419	5,971
販売費及び一般管理費	2,634	2,582
営業利益	2,785	3,389
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	38	55
持分法による投資利益	64	77
為替差益	24	204
雇用調整助成金	22	—
その他	40	25
営業外収益合計	194	366
営業外費用		
支払利息	4	5
その他	7	3
営業外費用合計	12	8
経常利益	2,967	3,746
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	174	—
特別利益合計	174	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	3,142	3,746
法人税、住民税及び事業税	957	1,108
法人税等調整額	△28	21
法人税等合計	929	1,129
四半期純利益	2,212	2,617
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,209	2,614

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
四半期純利益	2,212	2,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△88
為替換算調整勘定	7	147
退職給付に係る調整額	2	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△47	20
その他の包括利益合計	△31	83
四半期包括利益	2,181	2,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,178	2,690
非支配株主に係る四半期包括利益	3	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インドネシア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,356	621	19,977	102	20,080	—	20,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,744	—	1,744	—	1,744	△1,744	—
計	21,100	621	21,722	102	21,825	△1,744	20,080
セグメント利益又は 損失(△)	2,659	59	2,718	△9	2,709	75	2,785

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自転車関連商品の販売にかかわる事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,004	1,006	24,011	—	24,011
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	23,004	1,006	24,011	—	24,011
セグメント利益	3,277	110	3,388	0	3,389

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、自転車関連商品の販売にかかる事業を譲渡し撤退したことから、第1四半期連結会計期間より「その他」の区分を廃止しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

－ 以上 －

<参考資料>

令和4年10月31日
モリ工業株式会社

令和5年3月期 第2四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 R4. 3. 末	当四半期末 R4. 9. 末	増 減		前期末 R4. 3. 末	当四半期末 R4. 9. 末	増 減
流動資産	40,162	42,447	2,285	流動負債	14,163	13,855	△308
現金及び預金	13,580	13,126	△454	支払手形及び買掛金	9,458	10,081	623
受取手形及び売掛金	15,044	16,007	963	短期借入金	1,336	688	△648
棚卸資産	11,327	13,154	1,827	未払法人税等	1,382	1,204	△178
その他	209	158	△51	引当金	398	398	△0
				その他	1,587	1,483	△104
固定資産	22,364	22,316	△48	固定負債	2,052	2,672	620
有形固定資産	15,966	16,055	89	長期借入金	670	1,300	630
土地	7,999	8,073	74	役員退職慰労引当金	158	164	6
その他	7,967	7,982	15	執行役員退職慰労引当金	15	20	5
				繰延税金負債	713	698	△15
無形固定資産	75	75	0	その他	495	488	△7
投資その他の資産	6,322	6,184	△138	負債合計	16,216	16,528	312
投資有価証券	3,535	3,412	△123	純資産	46,311	48,235	1,924
退職給付に係る資産	1,740	1,744	4	株主資本	44,413	46,251	1,838
その他	1,047	1,028	△19	資本金・資本剰余金	14,509	14,509	0
				利益剰余金	29,904	31,741	1,837
				自己株式	△0	△0	0
				その他の包括利益累計額	1,862	1,938	76
				非支配株主持分	35	45	10
資産合計	62,527	64,763	2,236	負債・純資産合計	62,527	64,763	2,236

2. たな卸資産回転月数 (期末たな卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前第2四半期	当第2四半期	増 減
たな卸資産回転月数	2.86	3.29	0.43

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
89	415	519	7	200
日本 (△63)	(413)	(468)	(8)	(—)
インドネシア (152)	(2)	(51)	(△1)	(200)

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 R4. 3. 末	当四半期末 R4. 9. 末	増 減
有利子負債①	2,021	2,001	△20
現預金等換金性のもの②	13,580	13,126	△454
実質有利子負債①-②	△11,559	△11,124	435

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 R3. 4-R3. 9	百分比 %	当第2四半期 R4. 4-R4. 9	百分比 %	増 減
売上高	20,080	100.0	24,011	100.0	3,931
売上原価	14,660	73.0	18,039	75.1	3,379
売上総利益	5,419	27.0	5,971	24.9	552
販売費及び一般管理費	2,634	13.1	2,582	10.8	△52
営業利益	2,785	13.9	3,389	14.1	604
営業外収益	194	1.0	366	1.5	172
受取利息	3		3		
受取配当金	38		55		
持分法投資利益	64		77		
為替差益	24		204		
雇用調整助成金	22		—		
その他	40		25		
営業外費用	12	0.1	8	0.0	△4
支払利息	4		5		
その他	7		3		
経常利益	2,967	14.8	3,746	15.6	779
特別利益	174	0.9	0	0.0	△174
固定資産売却益	0		0		
投資有価証券売却益	174		—		
特別損失	0	0.0	0	0.0	0
固定資産除却損	0		0		
投資有価証券売却損	0		—		
税引前四半期純利益	3,142	15.6	3,746	15.6	604
法人税等	929	4.6	1,129	4.7	200
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	0.0	3	0.0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,209	11.0	2,614	10.9	405

6. 当第2四半期の経常利益増減要因 (前第2四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 生産金額(量・価格含む)の増加	1,382	1. 変動費率の増加	△1,083
2. 為替差損益	180	2. 固定費の増加	△33
3. 棚卸評価差損益	271		
4. その他	62		
計	1,895	計	△1,116
		差引	779